

2-8 障がい者福祉施設

(1) 施設の概要、設置状況

障がい者福祉施設は、以下の設置条例に基づき5つの施設が設置され、盲人の自立支援（盲人ホーム）、共同生活介護支援（伊賀ホームほほえみ、阿山ホームかざぐるま）、障がい者支援多機能型事業所（きらめき工房いが、きらめき工房あおやま）などの事業を行っています。なお、盲人ホームは社会事業協会、その他の施設は洗心福祉会へ指定管理を行っています。

<障がい者福祉施設の設置条例一覧>

- ・伊賀市盲人ホーム条例
- ・伊賀市障がい者ケアホーム設置及び管理に関する条例
- ・伊賀市障がい者支援多機能型事業所の設置及び管理に関する条例

施設名称	地区	所管課	施設延床面積	駐車場	運営形態	設置根拠	備考
盲人の自立支援施設							
盲人ホーム	上野	障がい福祉課	145.59㎡	有	指定管理	伊賀市盲人ホーム条例	社会福祉法人 伊賀市社会事業協会に指定管理
共同生活介護支援施設							
伊賀ホームほほえみ	伊賀	障がい福祉課	195.00㎡	有	指定管理	地方自治法第244条の2第1項／伊賀市障がい者ケアホーム設置及び管理に関する条例／障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第10項	社会福祉法人 洗心福祉会に指定管理
阿山ホームかざぐるま	阿山	障がい福祉課	197.09㎡	有	指定管理	地方自治法第244条の2第1項／伊賀市障がい者ケアホーム設置及び管理に関する条例／障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第10項	社会福祉法人 洗心福祉会に指定管理
障がい者支援多機能型事業所							
きらめき工房いが	伊賀	障がい福祉課	475.00㎡	有	指定管理	地方自治法第244条の2第1項／伊賀市障がい者支援多機能型事業所の設置及び管理に関する条例／障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項及び第15項	社会福祉法人 洗心福祉会に指定管理
きらめき工房あおやま	青山	障がい福祉課	317.80㎡	有	指定管理	地方自治法第244条の2第1項／伊賀市障がい者支援多機能型事業所の設置及び管理に関する条例／障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項及び第15項	社会福祉法人 洗心福祉会に指定管理

表 2-2-22 障がい者福祉施設の一覧



きらめき工房あおやま



阿山ホームかざぐるま

(2) 施設の状況

障がい者福祉施設を構成している5棟の老朽化率の平均は35.5%となっており全体的に新しい施設が多いのが特徴です。しかしながら、伊賀ホームほほえみは、無償提供された空き家（建築年度不明）を改修して平成14（2002）年度に開設した施設です。

施設名称	建物名称	延床面積	建築年度	老朽化率	残存年数	主体構造	耐震性	大規模改修	建物性能
盲人の自立支援施設									
盲人ホーム	本館	145.59㎡	平成6年度	32.0%	33年	鉄骨鉄筋コンクリート	有	有	3.8点
共同生活介護支援施設									
伊賀ホームほほえみ	入居棟	195.00㎡	平成14年度	100.0%	—	木造	無	無	1.0点
阿山ホームかざぐるま	事業所	197.09㎡	平成18年度	18.4%	17年	木造	有	無	3.4点
障がい者支援多機能型事業所									
きらめき工房いが	本館	475.00㎡	平成12年度	27.0%	27年	鉄骨造	有	無	3.6点
きらめき工房あおやま	本館	317.80㎡	平成16年度	25.2%	17年	木造	有	無	3.2点

表 2-2-23 建物性能一覧表

障がい者福祉施設の建物性能評価点を施設単位で比較した図2-2-49のグラフでは、伊賀ホームほほえみ（1.0点）が全施設の平均2.7点よりも低くなっています。

一方、その他の施設については、老朽化率が50%未満となっており、建物性能が高くなっています。

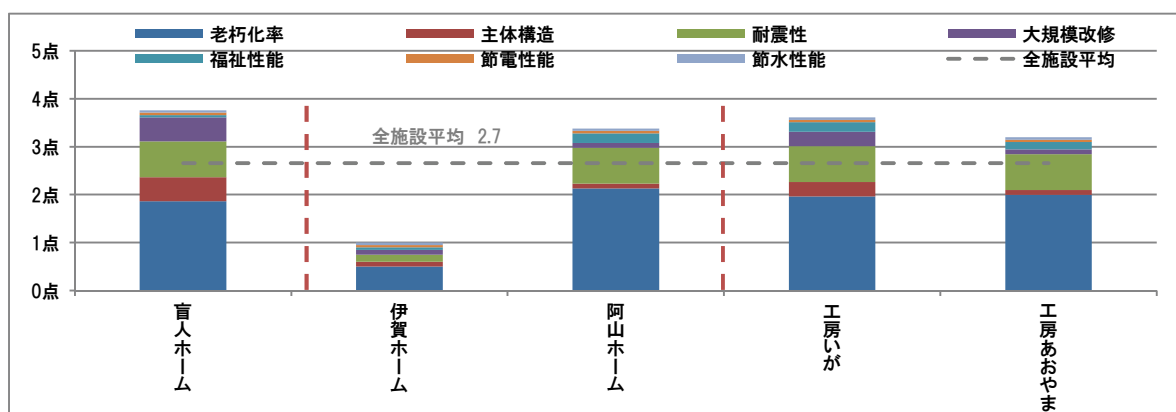


図 2-2-49 建物性能評価点の比較（5点満点）

(3) 財務の状況

図2-2-50は、障がい者福祉施設の保有コストの過去3年間の推移と面積当たり保有コストを記載したグラフです。障がい者福祉施設全体の保有コストは、59,282千円/年となっています※54。

なお、伊賀ホームほほえみは耐用年数を超過し減価償却費がかかっていないため、保有コストがほぼゼロとなっています。

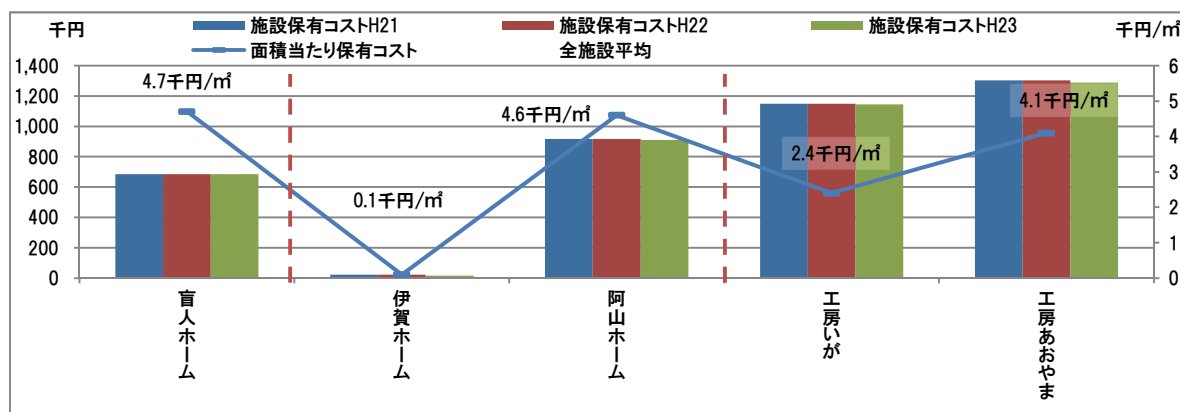


図2-2-50 施設保有コストの推移と面積当たり保有コストの比較

障がい者福祉施設の利用者一人当たりコストについては、盲人ホームが36,135円/人となっています。

一方で、共同生活介護支援（伊賀ホームほほえみ、阿山ホームかざぐるま）では6,000円/人以下、障がい者支援多機能型事業所（きらめき工房いが、きらめき工房あおやま）では10,000円/人以下となっています。

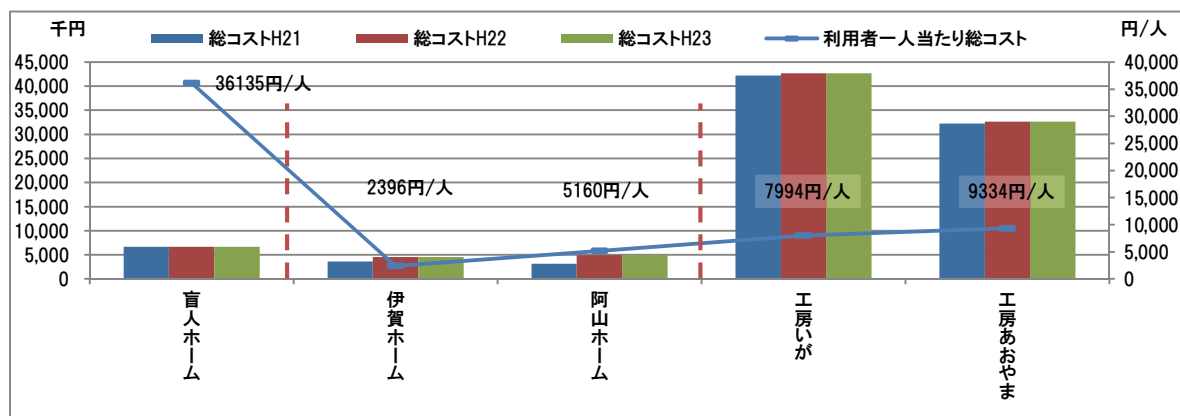


図2-2-51 総コストの推移と利用者一人当たり総コストの比較

※54障がい者福祉施設に関しては、全て指定管理施設であるため、減価償却費及び火災保険料以外の施設保有コストはかかっていません。

(4) 供給の状況

障がい者福祉施設の直近の利用者数は、167人から5,318人と各施設の利用者数は大きく異なっています。また、過去3年間の利用者数の増減率を比較すると、32.4%の増加から18.1%の減少となっており、施設間で大きなばらつきがあります。

施設名称	利用者数_H21	利用者数_H22	利用者数_H23	増減率	1日の利用定員	年間の利用定員	稼働率
盲人の自立支援施設							
盲人ホーム	204 人	185 人	167 人	-18.1%	20 人	5,980 人	3.1%
共同生活介護支援施設							
伊賀ホームほほえみ	1,744 人	1,641 人	1,761 人	1.0%	5 人	1,825 人	94.0%
阿山ホームかざぐるま	636 人	522 人	842 人	32.4%	5 人	1,825 人	36.5%
障がい者支援多機能型事業所							
きらめき工房いが	5,249 人	5,600 人	5,318 人	1.3%	25 人	6,100 人	88.3%
きらめき工房あおやま	2,894 人	3,519 人	3,482 人	20.3%	15 人	3,660 人	90.1%

表 2-2-24 障がい者福祉施設の利用状況

障がい者福祉施設については、施設の稼働率（施設の利用定員に対する利用者数実績）を指標として比較を行いました。

施設稼働率は、盲人ホームが3.1%、共同生活施設である伊賀ホームほほえみが94.0%、阿山ホームかざぐるまが36.5%※55、障がい者支援多機能型事業所であるきらめき工房いがが88.3%、きらめき工房あおやまが90.1%となっています。

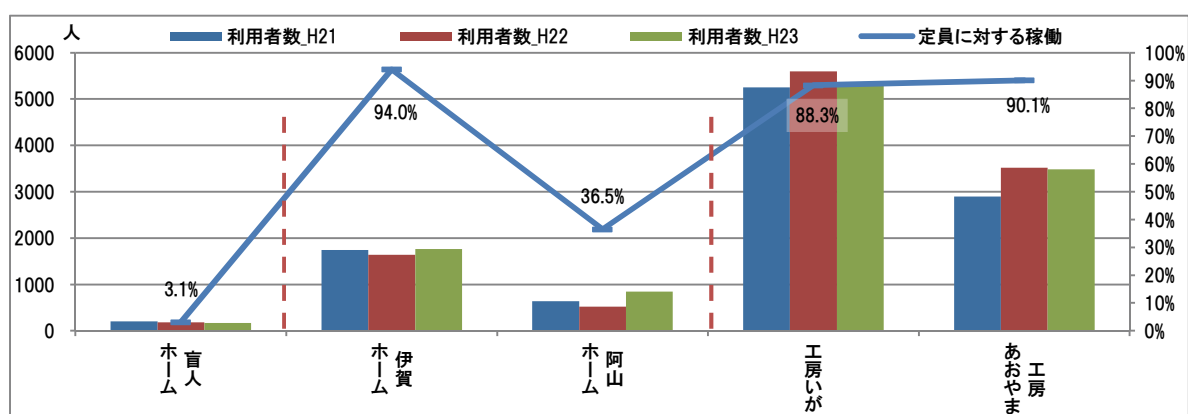


図 2-2-52 利用者数の推移と施設稼働率の比較

※55 阿山ホームかざぐるまについては、現在平日のみの利用であるため、施設の稼働率は36.5%となっています。

(5) 施設配置状況

障がい者福祉施設は、盲人ホームが上野支所エリア、伊賀ホームほほえみときらめき工房いがが伊賀支所エリア、阿山ホームかざぐるまが阿山支所エリア、きらめき工房あおやまが青山支所エリアにそれぞれ配置されています

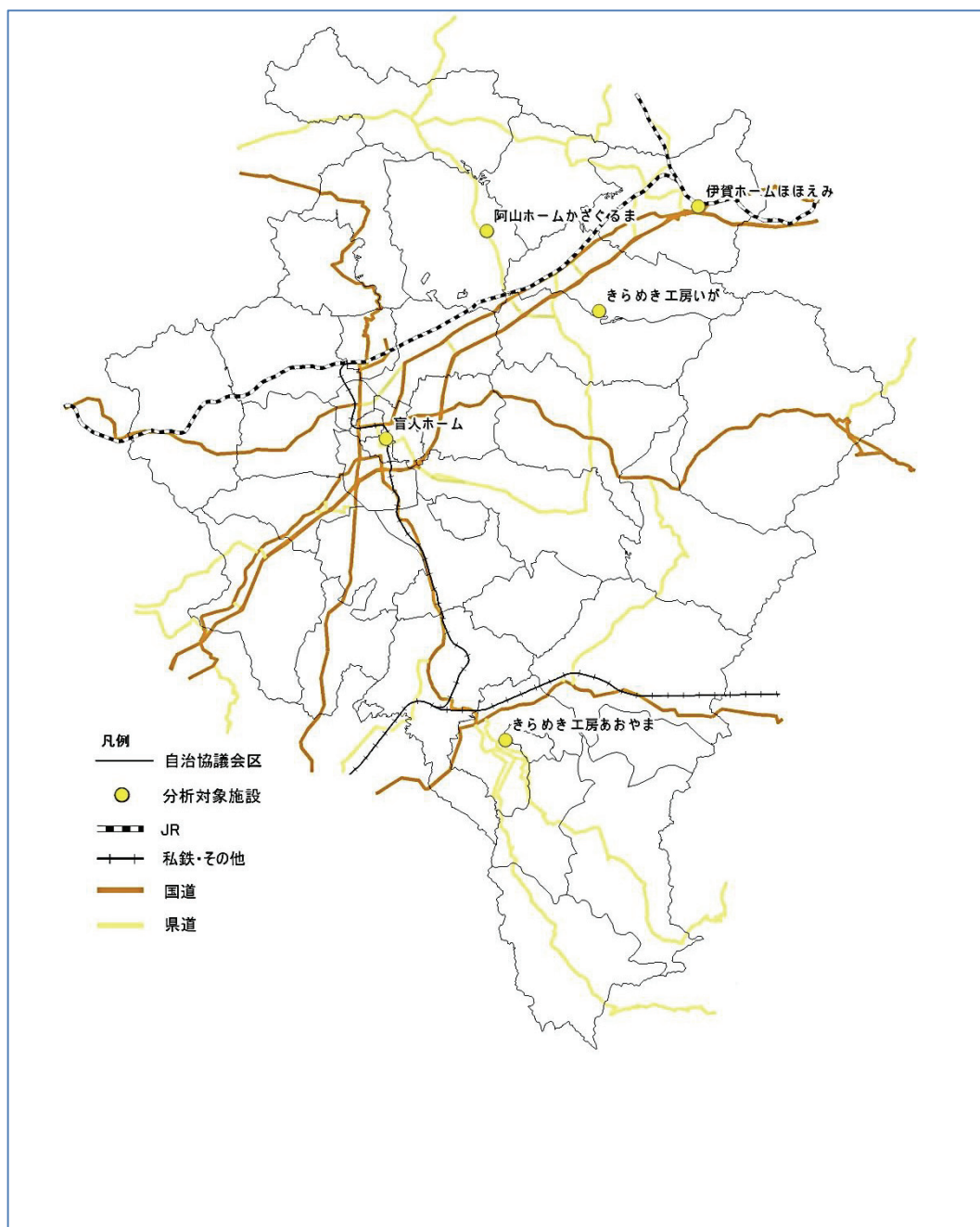


図 2-2-53 障がい者福祉施設の配置状況

(6) 現状と課題

<施設>

多くの建物が平成以降に整備されているため、老朽化率は35.5%と良好な値となっています。しかし、伊賀ホームほほえみは耐用年数をすでに超過しており、対応策を検討する必要があります。

<財務>

利用者が異なるため一概には比較できないものの、一人当たり総コストでは最大10倍以上の差が生じているなど、一人当たりで比較した効率性に大きな格差が生じています。障がい福祉施設については指定管理により運営を行っていますが、目標の設定などを通じて改善の方向性を探る必要があると考えます。

<供給>

定員に対する利用者数の稼働率は、伊賀ホームほほえみ、きらめき工房いが、きらめき工房あおやまで80%を超えており、概ね良好です。阿山ホームかざぐるまについては、現在平日のみの利用であるため稼働率が50%未満となっていますが、今後は土日も利用してもらうことを検討する必要があります。